（昭和20年12月28日第3種郵便物認可）　第28272号（日刊）

民報
min Press

2023年（令和5年）
10月15日　日曜日

発行所：室蘭民報社
〒051-0015 室蘭市本町1丁目3-16
電話0143-22-5121・FAX0143-24-1337
©室蘭民報社 2023

宅地造成工事が完了した「ゆめみの星　宮の森」

静寂確保、高い採光性

「ゆめみの星」分譲好調

室蘭・旧知利別小跡地

室蘭市内の建築会社4社による共同企業体（JV）が手がける市内宮の森町の分譲地「ゆめみの星　宮の森」が、先月の販売開始から成約を含め半数以上が商談中と好調な出足だ。JV代表社住まいのウチイケの内池秀光代表取締役は「学校や保育園、商業地に近いなど）利便性の高さと同時に、閑静な住宅街となっている」と好立地さを話す。

住まいのウチイケのほか、川田建設工業、宇佐美建設、内池建設によるJVが手がけている。

分譲地は旧知利別小跡地。2020年3月に同小が閉校し、22年5月に市の一般競争入札で住まいのウチイケが落札。今年5月に校舎解体から宅地造成に着手し、排水工事や地盤の整備を行い8月末に完成し、翌月から45区画の分譲をスタートした。

特長は、平らな場所の採光性を高めるため、各宅地ごとに南向きに30㌢ののり面を造ってひな壇のように造成しているほか、隣接する保育園横には歩道を設置し、通学や通勤時の安全面にも配慮している。

また、住宅街は2カ所からしか出入り口はなく、まちの中心部に位置しながらも車の行き来が少ないことも人気の一つ。既にくい打ちなどの住宅工事に取りかかっている物件もあるという。

内池代表取締役は、保育園が来年春に開園することを挙げ、「子育てには良い環境」と強調し、「新しいまちの象徴として付加価値を高めていきたい」と話した。

（浪越崇宏）